実践期における課題の作成及び提出について

実践期における課題は次の２種類です（いずれも提出が必須）。

Ⅰ 実践期レポートについて

１ 目的

（１） 支援センターにおける中堅職員の立場から、これまでの支援活動・業務を多角的に振り返り整理することで、今後の支援の質的な向上に資する。

（２）実践期レポートの作成・発表を通じ、発表・プレゼンテーションに係る技能を高める。

２ 課題

（１） 前期研修の講義や「支援の現状と課題Ⅰ」における自己の振り返り、事前資料を基にした他センターの取組を参考に、実践期で取り組む課題を各自で設定し、取り組んで下さい。

※個別事例については「ケーススタディ」にて検討しますので、個別事例ではなく複数の事例に共通する一般的な課題をご記入ください。

（２） 上記⑴で取り組んだ課題とその結果等を様式「実践期の取組課題（支援の現状と課題Ⅱ）」に取りまとめて下さい。後期研修において受講者に配付し、発表・意見交換を行います。

【参考】過去の受講者が取り組んだテーマ
- ○ カウンセリング技法を意識した面談の実践
- ○ 効果的な連絡会議の実施について
- ○ より効果的な企業情報の収集やアプローチの方法について
- ○ 就労移行支援事業所との情報共有のあり方について
- ○ 地域の障害者就業支援者のスキルアップに向けた取組　　など

Ⅱ ケーススタディについて

１ 概要

後期研修において研修受講者全員が支援事例を提出し、少人数のグループに分かれて事例検討を行います。ついては、下記のとおり事例を提出してください。提出いただいた事例は、研修当日に受講者に配付します。

２ 事例の提出

（１）事例の選定

① ご提供いただく事例は、ネットワークを活用して支援をした事例など、受講者の参考になると考えられる事例を選定してください。

② 障害種別は、精神障害者又は発達障害者・高次脳機能障害者・難病患者に対する就業支援の事例を選定してください（該当する事例の選定が困難な場合は他の障害種類でも可）。

（２）資料の作成

次の表を参考に様式「ケーススタディ」に記載してください。

①事例のテーマ	※事例の特徴を端的に表すテーマ名を記載します。 例）・不定期に長期欠勤がある方に対する支援について ・短期間で離転職を繰り返す方への支援の方法
②討議したい内容	※ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸで討議したい内容を記載します。 例） ・前触れなく突然欠勤し、そのまま欠勤が長期に渡ってしまう方に対する支援目標と、支援方法について検討したい。 ・人間関係の不調や体調不良を理由として短期間で離転職を繰り返す方に対し、職場定着を図るための支援方法について検討したい。
③事例の概要	※支援対象者の障害の状況、主な職歴、職場環境の概要、関係機関、就業状況、家庭状況等、討議したい内容に関係する事実を記載します。
④問題点・支援計画	※受講者が問題として把握した内容と、原因の分析、支援計画を記載します。 例） ・対象者は、定期受診で主治医に対し体調の変化を報告できていないため、長期欠勤を要する症状悪化に至っている。対象者と医療機関との適切な情報共有を目的として、受診に同行し対象者と主治医・PSW との関係形成を行う。 ・新しい上司の語気の強さに対する恐怖により、対象者が上司とのコミュニケーションを避け、さらに孤立感を深めたため、離職を検討するまでになった。上司の言動の受け止め方について相談するとともに、ストレス対処法（社外での相談等）を検討する。
⑤実施した支援の内容と結果	※④に基づき実施した支援の内容と結果を記載します。 例） ・受診に同行した結果、対象者・主治医・ＰＳＷと課題を共有でき、通院時に PSW から対象者に対する状況確認や助言が得られるようになった。その結果、欠勤が減り、長くとも２日程度に抑えられるようになった。 ・相談により上司の言動の受け止め方や余暇の過ごし方について整理した結果、離職には至っていない。ただし相談は頻回であり、離職の意志が完全になくなったわけではない。
⑥考察	※実施した支援内容を分析し、考察したことを記載します。 (例) 支援の効果、継続している課題、今後の支援の方針、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸで検討を深めたい内容など

（３）個人情報の取り扱い

① ケーススタディの提出にあたり、事前に対象者等に必要な同意を得てください。

② 受講者に配付するため、報告における個人情報はアルファベット表記とし、個人が特定できないようにしてください。

（例）Ａさん、Ｂ業所、Ｃ公共職業安定所

Ⅲ　提出期限と提出先

上記２つの課題は、提出期日までに、別途メールで通知する方法にてご提出ください。

＜提出期日等＞

各回の提出期日等については、ホームページをご確認ください。

【障害者就業・生活支援センター職員研修】

「７．受講の準備」

https://www.jeed.go.jp/disability/supporter/seminar/training.html

（お問い合わせ先）

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構　障害者職業総合センター

職業リハビリテーション部　人材育成企画課　地域人材育成係

TEL：043-297-9095　　FAX：043-297-9056　E-mail：stgrp@jeed.go.jp